

第 16 回

九州大学医学部熱帯医学研究会

学術調査団報告書

1981年8月

九州大学医学部熱帯医学研究会

御 挨 拶

会長 尾前 照雄（九大第二内科教授）

九州大学医学部熱帯医学研究会は、1965年の発足以来、熱帯医学の研究及び海外各国との交流等により医学の発展に寄与することを目的として、毎年国内・国外へ学術調査団を派遣してまいりました。今年度も学内、学外の御指導と御支援のもとに、第16回目の沖縄学術調査団、並びにフィリピン・マニラへの海外学術調査団を派遣することが出来ました。

沖縄学術調査団は、本年度は、宮古郡多良間村へ派遣し、現地にて、高血圧症を中心とした成人病検診と、食生活調査を行ないました。多良間村における活動は、今後3年間継続して行なう予定であり、これらの調査結果のもとに、地元住民の方々の健康の増進に寄与出来るものと存じております。なお本年度の成人病検診の成果については、九大医学部同窓会誌上にて発表することが出来ました。

一方、フィリピン・マニラへの海外学術調査団は、現地病院での研修・視察を行ない、現在の日本では経験出来ない重症感染症患者について実際に学ぶという貴重な体験をおさめることが出来ました。また現地の医学研究者との交流も深め、将来の医師としての国際的認識を持つことも出来ました。

以上、本年度も無事に学術調査団派遣を終えることが出来ましたことを御報告し、この間、多大なる御支援と御協力とを賜りました学内、学外の関係各位に厚く御礼申し上げます。

1. 沖縄学術調査団

期 間：8月16日～8月28日

団員構成

団 長 柊 山 幸志郎（九州大学医療短大教授）

A. 成人病検診班

河 野 雄 平（九州大学医学部第二内科）

川 副 信 行（ ” ” ）

藤 野 夫美子（九州大学医療短大助手）

矢 野 篤次郎（九州大学医学部3年）

山 口 裕 也（ ” 3年）

黒 木 俊 秀（ ” 3年）

藤 原 一 男（ ” 2年）

塩 道 新 一（ ” 2年）

原 泰 三（ ” 1年）

渡 辺 真理子（九州大学医療短大3年）

福 原 寿 美（ ” 3年）

平 田 淳 子（ ” 2年）

日 高 文 子（ ” 2年）

高 倉 美智子（ ” 1年）

B. 食生活調査班

大 里 進 子（東筑紫短大教授）

宮 原 ハツエ（精華女子短大教授）

山 田 洋 子（東筑紫短大）

芹 川 伸 子（精華女子短大2年）

鈴 木 浩 子（ ” 2年）

行動記録

3月30日 予備調査隊2名

） 沖縄県宮古郡多良間村にて、役場関係者と検診の日程、場所、内容等について

4月4日 話し合う。

8月16日 先発隊2名 福岡空港発 那覇着 県庁医事課、琉球新報社にあいさつ

- 8月17日 先発隊2名 宮古着
宮古保健所にあいさつ
- 8月18日 本隊 博多港発
- 8月19日 先発隊2名 多良間着
下地村長にあいさつ
厚生課長、洲鴨保健婦さん等と打合わせ
本隊 那覇着
- 8月20日 先発隊2名
住民票をもとに受診対象者をリスト・アップ
那覇にて団長が県庁医事課、琉球新報社にあいさつ
本隊 那覇発
- 8月21日 宮古にて団長が宮古保健所にあいさつ
本隊 多良間着
団長が村長、役場関係者等にあいさつ
保健婦さん、役場担当者と最終的な打合わせ
検診会場（公民館）の準備
食生活調査班は婦人会の方と会合
- 8月22日 成人病検診開始
食生活調査班 戸別訪問による調査
- 25日
- 8月26日 成人病検診終了
24時間尿採取（住民の希望者のみ）
- 8月27日 採取した検体を梱包、福岡へ空輸
検診結果のまとめ
健康台帳を作製し、保健婦さんに手渡す。
- 8月28日 本隊 多良間出発
- 8月29日 本隊 福岡着

2. 海外学術調査団 ―フィリピン班―

派遣目的

開発途上国の医療体制や疾患、衛生状況について研修・視察を行ない、医学生として国際的認識を持つとともに、各国の医学研究者との交流を深める。

期 間：8月4日～8月14日

団員構成

団 長 宮 田 正 和（九州大学医学部細菌学教室）

学 生 安 波 道 郎（九州大学医学部3年）

田 中 耕 司（九州大学医学部2年）

行動記録

8月4日 14：50 福岡発

19：40 マニラ着 タワー・ホテル泊

8月5日 San Lazaro 病院に行き、Dr. Uylangco にあいさつ。Dr. Gonzalez に病院内を案内していただく。

8月6日 午前、San Lazaro 病院の検査室にて、検査の実際を見学。
午後、病棟見学。

8月7日 午前、大阪大学の学生と合流し、病棟を見学する。
午後、ジフテリア、破傷風、腸チフス、肝炎などの患者を実際に診察する。また結核患者の胸部X線写真の読影実習も行なう。

8月8日 午前、大腸菌、コレラ菌、腸チフス菌などの染色標本を見学。染色法の実習。
午後、マラリア原虫の血液塗抹標本の見学。

8月9日 現地の学生とタガイタイへ観光。

8月10日 Tondo 地区の診療所を見学。

8月11日 性病外来にて、菌の採取法の実際、標本などを見学。保健所の検査施設を見学。
Jose Reyes Memorial Hosp. の検査室の見学。

8月12日 St. Thomas 大学に行き、付属病院、講義棟などを見学する。

8月13日 14：30 マニラ発

19：30 ソウル着 チョーソン・ホテル泊

8月14日 9：40 ソウル発

10：50 福岡着

5 6 年 度 会 計 報 告

収 入

前年度繰り越し金	1 2,3 5 9
九大同窓会	3 5 0,0 0 0
国際医療団	3 0 0,0 0 0
西日本民生事業団	2 0 0,0 0 0
福岡中央ライオンズクラブ	2 0 0,0 0 0
福岡天神ライオンズクラブ	2 0 0,0 0 0
福岡9地区ロータリークラブ	1 0 0,0 0 0
一般賛助団体寄付	5 1 8,7 0 0
学生外会員寄付	1 9 5,0 0 0
自己負担金	
沖縄班	4 7 0,2 0 0
フィリピン班	2 9 5,3 2 0
会 費	5 0,0 0 0
計	2,8 9 1,5 7 9

支 出

1. 一般支出	
通信・連絡費	7 0,0 0 0
備品購入費	5 1,5 6 0
沖縄予備調査費	2 1 8,2 4 0
計画書作成費	4 3,0 4 0
カルテ作成費	2 9,0 0 0
報告書作成費	2 0 0,0 0 0
郵送費	5 4,8 0 0
医学生会議参加費	3 9,0 0 0
雑 費	3 9,5 0 0
予備費	5 0,0 0 0
計	7 3 2,1 4 0

2. 沖縄学術調査団支出

交 通 費	9 1 6,8 8 0
宿 泊 費	7 3,0 0 0
食 費	1 0 5,0 8 8
通 信 費	2,9 3 0
装 備 費	6 8,8 2 5
貨物輸送費	2 5,2 7 5
検 査 費	1 8 8,0 0 0
雑 費	2 0,3 4 8
計	1,4 0 0,3 4 6

3. フィリピン班支出

渡航前準備費	2 8,5 4 0
交 通 費	5 4 9,2 0 0
宿泊滞在費	1 2 0,5 4 5
通信・連絡費	1 9,7 3 0
現地活動費	1 0,2 0 9
記 録 費	1 5,0 0 0
雑 費	2,0 9 6
計	7 4 5,3 2 0

以 上

収入総額	2,8 9 1,5 7 9
支出総額	2,8 7 7,8 0 6
残高	1 3,7 7 3

協賛諸機関団体

九大医学部同窓会	多良間村役場
宮古保健所	琉球海運
琉球観光	南西航空
全日空運輸	琉球新報社
国際医療団	

西日本新聞民生事業団	福岡中央ライオンズクラブ	福岡天神ライオンズクラブ
福岡9地区ロータリークラブ	日本医学研究所—九州	サ ン ド 薬 品
日本チバガイギー	三 共 製 薬	九 州 電 力
エ ー ザ イ	西日本相互銀行	福 岡 相 互 銀 行
西 部 ガ ス	興 和 新 薬	ミ ド リ 十 字
メ ル ク 万 有	日 本 化 薬	藤 沢 薬 品 工 業
明治製菓薬品部	塩 野 義 製 薬	山 之 内 製 薬
中 外 製 薬	バイエル製薬	福 岡 銀 行
岩 田 屋	第 一 製 薬	武 田 薬 品 工 業
パークデービス三共	鳥 居 薬 品	台 糖 フェイザー
大 日 本 製 薬	フ マ キ ラ ー	大 塚 製 薬
マルイス三共	久 光 製 薬	富士エックスレイ
サクラエックスレイ	カメラのやなぎ	三菱鉛筆九州販売

学 生 外 会 員 寄 付 状 況

尾 前 照 雄 (会長、九大第二内科教授)

沢 江 義 郎 (九大医療短大教授)

大 西 克 尚 (九大眼科)

野 村 恒 民 (産医大眼科)

吉 村 健 清 (産医大公衆衛生学)

福 重 淳一郎 (九大小児科)

玉 田 隆一郎 (九大第二外科)

中 村 征 夫 (産医大中央手術部)

稲 葉 頌 一 (九大輸血部)

岡 村 健 (九大第二外科)

松 井 敏 幸 (九大第二内科)

俞 広 義 (産医大第二内科)

石 田 照 佳 (九大第一病理)

小野山 佳 道 (九大臨床薬理)

檜 林 英 樹 (九大第二生化学)

高 松 純 (九大麻醉科)

保 利 敬 (九大ICU)

松 田 和 久 (九大麻醉科)

松 尾 圭 介 (九大整形外科)

福 重 隆 彦 (九大小児外科)